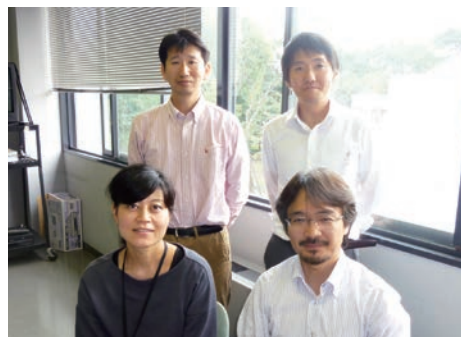


発行所／日本社会事業大学同窓会 〒204-8555 東京都清瀬市竹丘3-1-30  
電話042-496-3053 振替口座00100-9-42448  
ホームページ <http://jcsw-alumni.com/>  
編集・印刷／株式会社 JA情報サービス(日本農業新聞グループ)  
発送／株式会社 同窓会事務局

# 社大同窓会

## 74号

桜植樹／正面玄関  
河津桜を校内5ヵ所に植栽  
(校友室青木さんと)



新事務局

同窓会の愛称「原宿会」。社大は原宿から清瀬へもうすぐ27年目を迎えます。  
同窓会誌名も原宿を卒業し、「社大同窓会」となります。  
板山賢治氏(研究科4期生)に揮毫をお願いしていましたが急逝。  
学部誕生半世紀を超える母校、本科卒の私ですが、母校職員・同窓会業務を  
長年携わった者として、感謝の気持ちで書きました。

同窓会顧問 伊藤博胤(本科10期)



学部第15期生のつどい  
学部15期(71年度生)が  
9年ぶりに集合  
3月15日(土)清瀬

学部第15期生のつどい  
写真撮影:井上昭夫



桜植樹  
アガベ像付近にも(伊藤顧問と)





## フォーラム 2014

6月28日(土) 29日(日)



### ▲ 木田賞受章者

左から石川恒さん(学部1982年卒)  
石橋須美江さん(院前期2010年卒)  
岩崎操さん(学部1970年卒)  
岩崎俊雄さん(学部1970年卒)

### ピッポ▶

学生児童劇団ピッポの夏公演は、  
新潟県佐渡市3カ所で実施した  
写真は8月21日(木)両津福祉センター  
同窓会新潟支部にご協力いただきました



### ◀ 三大学包括連携協定

5月21日(水)清瀬市内にキャンパスが  
所在する三大学による  
包括連携協定調印式が行われた



## サークル



ボランティアサークル

### テニス部





## 現場を離れた理由……

社会福祉法人賛育会は、一九八一年にキリスト教の隣人愛に燃え、その実践を志す人たちによって創立され、当時劣悪な環境に合った母子の保護・保健・医療活動に端を発し、現在は、一般医療・老人福祉・保育事業を実施しています。

そんな賛育会に就職してはや十五年、多様な経験を通して人材を育成する方針に基づき、老人福祉の現場で介護員・生活相談員・経理担当と転勤しながら勤務し、現在は法人事務局で総務部と経営企画部を兼務しています。現場で働いてこそ福祉という思いが強くなりましたが、一方で、もっと組織が効率良くまた有効に組織の資源を活用すれば、

もっと多くの笑顔に結びつくのもったいない、との思いも漠然と抱えてきました。

現場を離れて仕事をするのを拒まなかったのは、そんな思いからでした。結果として今は、現場にいただけでは気づかない多くを学びながら、どう事務局から現場をサポートし法人としての働きを成すか、試行錯誤する日々です。九六年前の物も法律もない時代に、福祉の業に取り組んだ先人の理念をどう継承し実践するのか、そんな大きな課題から目の前の現実的な課題まで、仲間と知恵を絞りながら一歩ずつ歩んでおります。



**遠矢 充宏** さん(学部40期生)

### 【プロフィール】

埼玉県出身

在学中は、主に学園祭実行委員会・学生自治会に参加、その他幽霊部員をいくつか…

2000年 社会福祉学部福祉計画学科卒業

卒業後、社会福祉法人 賛育会(さんいくかい)に就職、現在に至る。

## 大学生活での出会いが支えに

私は児童養護施設のファミリーソーシャルワーカーです。特に希望していたわけではないのですが、大学に求人があった児童養護施設に目がとまり、「出会いだ」と思っただけで就職面接を受けました。それからこの仕事に「はまってしまった」のだと思います。この間人権や発達保障に配慮された制度への変化もあり、特に建物や生活単位は小規模化が進みました。物理的に一般家庭に近づいた環境は入所児童を和ませていると思います。

す。しかし一方、一般家庭といっても生活スタイルは多様化し、その中で子どもと親の抱える問題は複雑かつ深刻化し、このような環境になじまない入所児童も増えました。子ども達とのやりとりも含めて何から何まで矛盾のある仕事だなあと思う日々なのですが、そこで支えになるのは大学生活全般です。思えば世の中の矛盾や理不尽や不確実等は、講義やゼミで学ぶだけでなく飲み会や時にサークル等の様々な場面で語りあっていた気がします。そして状況に身を投じて考えたり、流されてみたりすることも実践を通してできるようになってきました。今後もしつらく出会った子ども達(親も)が、理不尽な現実やけにならずに、受け入れて前進できるよう一緒に頑張ろうと思います。



**小山 菜生子**さん  
(学部35期生・児童福祉学科)

### 【プロフィール】

社会福祉法人 旭児童ホーム



# Mandolin Ensemble

## マンドリンアンサンブル



普段の練習の様子。

### 3種類のマンドリン



左から順にマンドリン、マンドラテノール、マンドチェロと言い、形が大きくなるにつれ音が低くなる。マンドリンアンサンブルではほかに、クラシックギターとコントラバスと一緒に演奏します。



### これからの活動

来年度2015年3月14日に第50回定期演奏会を行います。50回という節目を迎えたマンドリンアンサンブル。今までお世話になった方々に仲間と一緒に感謝の気持ちを伝えられたらと思います。



前回の定期演奏会後皆で。クラシックを中心に演奏します。

### マンドリンアンサンブルって??

マンドリンアンサンブルは、イタリア発祥の弦楽器「マンドリン」を使って、クラシック曲やポップスを演奏しています。主な活動として、6月の学内学会や11月の学祭での発表のほか、保育園や地域行事等への依頼演奏、そして3月の定期演奏会があります。マンドリンは他の弦楽器と比べて繊細で優美な音が特徴で、耳に残りやすい曲が多いです。私たちの演奏が聴いていただく方々の心に残っていただけると幸いです。

### 活動メモ

- 2013年4月 入学式（毎年校歌と入場の演奏があります）  
新入生歓迎会
- 6月 学内学会発表（サークルセッション）
- 7月 学内葬
- 8月 夏休み強化練習  
（1週間演奏技術の向上を目的としています）
- 11月 学祭発表&3サークル合同ステージ  
（マンドリン・菩提樹・てまり）
- 2014年1月 強化合宿（定期演奏会に向けての合宿）
- 3月 第49回定期演奏会  
学位授与式（毎年校歌と入場の演奏があります）  
追い出しコンサート  
（卒業されるマンドリンの先輩に演奏）  
\*これ以外に依頼演奏を定期的に行っています



第49回定期演奏会のチラシです。  
毎年このようなチラシを配布しております。

現在一年生5人、二年生4人、三年生4人、四年生6人います。四年生は引退されていますが、たびたび後輩の指導にいらっしゃいます。左の帽子を被っているのが代表の宮澤薫です。



冬の強化合宿では千葉県の民宿で練習します。

母校の支援と同窓生のネットワークを生かすため、あなたの同窓会への参加をお待ちしています。



## 「学部第15期生のつどい」を開催しました!!

2014年3月15日  
1ページに関連写真

学部第15期生は、1971年入学、1975年の卒業です。卒業してから、既に40年が経とうとしています。前回の同期会開催が、2005年3月19日でしたので、あれから9年が経過してしまいました。第15期生が入学した年は沖縄返還闘争の真っ最中であり、当時の教授陣は、飯田さん、小川政亮(せいりょう)さん、小川トシ(利夫)さん、垣内さん、倉田さん、小松源助さん、五味さん、杉森さん、関家さん、田辺さん、仲村優一さん、古川さん、横山さん、吉田キウ(久一)ちゃん、鷺谷(ワシ)さんといった錚々たるメンバーでした。今にして思えば、とても偉い先生ばかりなのに、学生はみな上記のように「さん付け」でしたし、先生たちもそれを「許してくれて」いました。大橋先生が社大に戻ってきたのは74年のことです。また、在学中ずっと(その後も現在まで!)お世話になったのは学生課の伊藤さんでした。

私たちもまたみな還暦を過ぎ、ある者は今の仕事を継続し、ある者は第2の人生を歩み始め、とそれぞれの老境を迎えようとしています。そうした中にある、私たちが曲がりなりにも社会福祉等を通じて社会に貢献できているのは、間違いもなく日社大という大学と、そこで教鞭をお執りになっていた我らが

が恩師のお陰である、と断言できます。

そこで、日社大と先生や職員のみなさんに心からのお礼を言っておきたいという思いで、今回の企画を実施することとしました。とき、2014年3月15日の土曜日のことです。当日ご参加いただいた教職員は、伊藤同窓会顧問、小川政亮先生、京極先生、佐藤久夫先生、横山先生、さらには、加藤総務部長、椎名総務課長(前回時は学生課長で采配)、畑戸校友室長補佐(今回の陰の立役者)、そして浜田先輩。同期生を含め実に総勢で50人でした。

なお、今回の「つどい」にあたり、政亮先生よりは御本を、京極先生よりは過分なご祝儀を、横山先生よりは大瓶のシャンパンをいただきました。ありがとうございます。

そして何よりも、返信用葉書に熱いメッセージを書き付けてくれ、また全国各地から参加してくれた恩師並びに第15期生のみなさん、本当にありがとうございます。

また、どこかで、お…会…い…し…ま…し…よ…う…ネ…!!

\* 梅に桃桜も愛でつ旧交す

(文責・高田)

## 栃木県支部総会および記念講演会を開催

2014年7月20日(日)栃木県支部総会が以下のとおり開催されました。大橋同窓会長のほか大学側からは、加藤正行総務部長、畑戸健太郎校友室長補佐が参加し、無事終了しました。  
◎会場／ホテルニューイタヤ(栃木県宇都宮市)開始13時～

◎内容／第1部・総会／第2部・記念講演会 大橋謙策(元母校学長 現同窓会 会長)・テーマ「自立生活支援の再検討とソーシャルワーク」／第3部・木田賞受賞者紹介とレポート／第4部・木田賞受賞者を祝う会・交流会



## 京都府支部同窓会／2年ぶりに開催!!

今回は、母校から菱沼幹男准教授、学生の大金・佐藤さん、並びに同窓会から伊藤博胤同窓会顧問のご出席をいただき、花を添えていただきました。地元からは9名が参加しました。伊藤同窓会顧問から最近の母校の様子の報告を皮切りに、塚本智さん(学部25期)から「共に生きる」をテーマにした心温まる実践報告、そして菱沼先生と学生さん2名からボランティア活動「東北地震被災地支援」について生々しい活動報告をいただきました。どうもありがとうございました。

今回京都での初参加の方が3名おられますが、宴が進むにつれ、すっかり打ち解けることが出来、貴重なひと時を過ごせたのではないかと実感しています。何年か先、懐かしさが増してきた時に再びお会いしましょう。

★日時／平成26年4月13日(日) ★場所／美濃吉 ★参加者／13名  
京都支部長 須山 真行



## 広島県支部総会

平成26年5月18日(日)に広島市の「広島」の宿「相生」で行いました。参加者は8名で人事について話し合いが行われました。樽本会長が高齢のため勇退されました。後任に学部14期の藤本風明さんが互選で選ばれました。経歴は「広島国際学院大学 現代社会学部」の教員の紹介を参照してください。藤本風明 新会長が最近の福祉制度の変化について詳しい説明を行いました。そのあとは社大の校旗(ミニチュア)を掲げて懇親会を行いました。<樽本 観 支部長期間は平成14年8月～平成26年5月でした。事務局>



社大の旗(ミニチュア)  
(左から)平岡信幸(学16)、樽本観(研9)、  
福島利通(専7)、大崎和義(学6)、岡部功(学11)、  
藤本風明(新会長/学14)、杉ノ原憲之(学10)、平岡朝子(学17)  
コメント:樽本会長長い間ありがとうございました。  
これからもアドバイスをお願いいたします。

## 福島県支部 地域福祉活動講演会

過疎や少子高齢化は、奥会津「昭和村」に限らず、全国で多くの地域が抱える深刻な課題です。こうした地域で、「地域包括ケア」をいかに推進していくか、また、安心して暮らしていくために必要な支え合いの仕組みをどのように自分たちの手で育んでいくか、そうしたヒントを得るべく標記講演会を開催いたします。

お問い合わせ先等については、同窓会ホームページをご覧ください。

●日時／平成26年10月31日(金)13時30分～15時30分 ●会場／昭和温泉しらば荘(しらば荘会館(福島県大沼郡昭和村大字野尻字新町1266)) ●基調報告／昭和村の地域福祉活動について／昭和村社会福祉協議会 福祉活動専門員 五十嵐 伸

●講演「これからの地域包括ケアと地域福祉の推進について～過疎・少子高齢化地域における福祉活動と人材確保について～」

日本社会事業大学 准教授 菱沼 幹男

次のページ(6p)にお知らせのつづきがあります。

お知らせ

入学50周年記念 社会福祉学部  
1975年度入学生・1977年度編入生  
同窓会を以下のとおり開催します。

- 日時／2015年5月3日(日・祝日)
- 第1部／レセプション 15時から16時30分
- 第2部／懇親会 17時から19時
- 会場／南国酒家原宿店  
(渋谷区神宮前6-35-3 コープオリンピア1階)

## ◆2014年度事業計画・予算

- ①委員会及び事務局活動として、総務委員会、広報委員会を統合して運営委員会とする。
- ②地方大会の開催を各支部と検討・調整を行う。
- ③支部活動費は各支部からの請求に基づき、3万円を上限として交付する。
- ④同窓会の予算規模は、1,100万円強。委員会活動、会報発行、地方大会及び支部活動への支援、母校及び母校学生への支援、学内学会開催等に支出される。

## ◆会則改正 主要改正点

- ①会員区分として新たに「旧文京社会福祉専門学校卒業生で入会を希望する者」を追加した。
- ②委員会の総務委員会と広報委員会を統合し運営委員会とする。研究調査委員会は廃止とする。

## ◆役員改選・事務局長の選任

14年度から3年間の新役員体制が承認され、顧問5人、会長1人、副会長7人、監事2人、運営委員7人、事務局5人が選出された。

## 2013年度 日本社会事業大学同窓会収支計算書 2014年度 日本社会事業大学同窓会予算

## 収入の部

(単位：円)

| 科 目    | 2013年度決算額  | 2014年度予算額  |
|--------|------------|------------|
| 前年度繰越金 | 5,599,649  | 5,276,257  |
| 会費収入   | 5,278,490  | 5,000,000  |
| 入会金収入  | 807,000    | 807,000    |
| 利息収入   | 403        | 500        |
| 雑収入    | 0          | 1,000      |
| 合 計    | 11,685,542 | 11,084,757 |

## 【収支差引額】

11,685,542 - 6,409,285 = 5,276,257  
(収入決算額) (支出決算額) (翌年度繰越額)

◆2013年度同窓会基金(元会館建設基金)現在高

21,161,442円

◆2013年度五味基金

21,523,123円

## 支出の部

| 科 目        | 2013年度決算額 | 2014年度予算額  |
|------------|-----------|------------|
| 会議費        | 87,747    | 200,000    |
| 委員会活動費     | 165,445   | 200,000    |
| 機関誌等発行費    | 2,444,176 | 3,000,000  |
| 通信運搬費      | 98,416    | 120,000    |
| 支部強化費      | 1,075,620 | 1,200,000  |
| 支部出張等費     | 359,096   | 400,000    |
| 学内学会助成費    | 100,000   | 100,000    |
| 卒業記念品費     | 234,450   | 300,000    |
| 国際交流推進費    | 74,025    | 80,000     |
| 人件費        | 600,000   | 600,000    |
| 事務局活動費     | 279,804   | 300,000    |
| 事務局業務委託費   | 63,000    | 80,000     |
| システム管理費    | 126,420   | 150,000    |
| ホームページ関係諸費 | 613,206   | 300,000    |
| 慶弔費        | 87,880    | 100,000    |
| 名簿作成費      | —         | 2,000,000  |
| 予備費        | 0         | 1,954,757  |
| 合 計        | 6,409,285 | 11,084,757 |

## 新事務局メッセージ

今年度より新たな教員メンバーで同窓会事務局を担うことになりました。私たちは清瀬キャンパスで学んだ世代ですが、様々な場面を通して先輩方から原宿キャンパスの思い出を聞かせて頂きました。社大が背負ってきた使命と育まれた伝統を大切にしていきたいという気持ちは世代を超えて感じていることです。現代社会の福祉問題に対して、校歌の言葉にある「社会の福祉 誰が任ぞ」の気概を持って向きあい、在学生、卒業生、教職員、教職員OBのネットワークによって、学びと経験の

交流から叡智を継承・発展させていく同窓会活動につながればと思っています。

まもなく大学創立70周年を迎えるにあたり、同窓会事務局の運営にあたっては、まだまだ力量不足ではありますが、運営委員会や幹事会の皆様、諸先輩方にご指導頂きながら、しっかりと役割を果たしていきたいと思っています。どうぞよろしくお願い致します。

## 新メンバー

事務局長 菱沼 幹男 日本社会事業大学 准教授 学部34期(前列右)  
 事務局次長(広報) 有村 大士 日本社会事業大学 准教授 院後期10期(後列右)  
 事務局次長(会計) 大島 千帆 日本社会事業大学 特任准教授 学部41期(前列左)  
 事務局次長(総務) 佐竹 要平 日本社会事業大学 専任講師 研究科52期(後列左)  
 事務局次長(専門職大学院) 藤野 将陸 (株)ビーサイドユー 代表取締役 学部46期(円囲み)



## JCSW ネットワークを広げよう

## お知らせ

## 秋田県支部 市民公開講座

近年、DV被害や児童虐待など増加の一途をたどり、平成25年度には配偶者から暴力を受ける事案の件数は「配偶者暴力防止法」施行以来最多、約5万件となっております。また、児童虐待についても、全国の児童相談所における相談対応件数は増加の一途をたどり、平成23年度には約6万件にも上っています。本講座は、こうした状況を踏まえ、児童子育てのあり方や虐待への対応方策について関係者の皆様や市民の皆様からの幅広い参加を得ながら学ぶ機会とします。  
 ●日時／平成26年11月1日(土) 13時～15時30分 ●会場／秋田県社会福祉会館9階 ●講演／「子育て支援のあり方と児童虐待の対応」明治学院大学教授 松原康雄 ●報告「大地震に備える／日赤・社会福祉施設が果たす機能・役割」日本赤十字社 木村尚文 ※秋田県母子福祉協議会との共催になります。

## 北海道支部 秋季セミナー

「はこだて社会福祉フォーラム」  
～住民の生活課題とその求められる対応～

北海道同窓会では、11月2日、3日の2日間、秋季セミナーを開催する予定です。皆様、ふるってご参加ください。なお同窓会ホームページにセミナー情報を掲載しますので、内容等ご覧ください。

●日時／平成26年11月2日(日)／15時～17時45分 ●会場／函館市総合福祉センター5階多目的ホール(函館駅より徒歩10分) ●11月3日(月／文化の日)／セミナー2日目の見学先として、視聴覚障がい者用共同住宅「はこだての家日吉」を予定しています。



## 訃報 石井哲夫さんを偲ぶ



母校評議員・社会福祉法人嬉泉常務理事・社会福祉法人日本保育協会理事長 石井哲夫 先生が、去る平成26年5月28日永眠されました。

平成26年6月21日(土)には「お別れ会」が催され、先生の門下生や関係者の方々など石井先生を偲ぶ1,000名以上の方が参列され、先生を偲ばれました。

母校教員時代には、多方面でご活躍されました。謹んでご冥福をお祈りいたします。

## 河津桜の植栽をしていただきました。

日本社会事業大学学部30期卒業生の栗原と申します。現在は、山梨県韮崎市にある社会福祉法人信和会の理事長として障がい者・高齢者への事業の運営を行っております。

当法人では地域貢献の1つとして、桜の苗を栽培し、地域への植栽を行い、地域を桜の町にしようと頑張っています。今年の4月には母校へ当法人で育てた5本の河津桜の植栽をしていただきました。2、3年後には、ピンク色の花をつけると思います。清瀬キャンパスに来る楽しみにしていただければと思います。



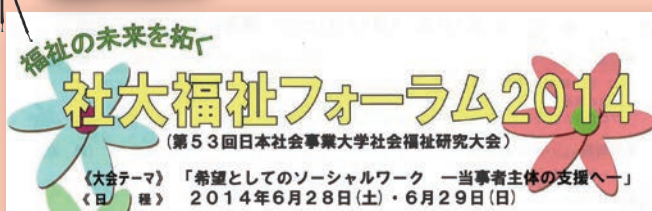
ボランティア庭師が定期的に手入れ



サークルセッション



### スナップ集



開会



記念講演



サークルセッション





## 認知症の人のケアは地域の重要な課題

認知症の人は二〇二二年時点で四六二万人、認知症になる可能性がある軽度認知障害(MCI)の高齢者も約四百万人(予備軍は年間で約10%が認知症に移行)と推計されています。65歳以上の高齢者の約15%が認知症ということになり、認知症の人のケアは地域の重要な課題となっています。

このような状況を踏まえ、現在、国の施策として、認知症施策推進五か年計画(通称オレンジプラン)が掲げられ、多くの事業が実施されています。例えば、「認知症ケアパス作成普及」事業は、市町村においてこれまで地域で培われてきた「認知症の人を支える取り組み」を体系的に整理し、認知症の人や家族、地域住民に対して、認知症の人を地域でいかに支えていくかを明示する取り組みです。

私の所属する認知症介護研究・研修センターは、認知症介護に関する研究及び研修を実施する他、情報収集、発信、実践者のネットワークの拠点と

して機能することを目的に、全国三か所(杉並区、仙台市、大府市)に設置されています。当センターが実施しているオレンジプランに関連する事業の一つは、認知症地域支援推進員研修があります。研修を修了した認知症地域支援推進員は、地域包括支援センター等に配置され、早期発見・早期対応のための活動を行うほか、地域住民への啓発、医療と介護の連携の体制づくり等に資する活動を行います。また、私自身は各地域から推薦された現場の第一線の認知症ケア実践者が教育技法を学ぶ認知症介護指導者養成研修を担当しており、修了者は各都道府県で研修講師や認知症の人のための地域活動を担っています。

以上の取り組みを含めて、認知症の人を地域で支えるための実践・研究は少しずつ進んでいます。まだまだ「認知症になったのだから早く施設に入れたら」といった偏見はなくなっていない。本人や家族が、認知症であることを受け入れられず、医療やサービスを受けることを拒否するケースもあります。虐待もありますし、若年認知症の人が支援につながりにくい現状もあります。

さらに、行方不明として警察に届けられた認知症の人は約二万人に上るというデータもあります。介護保険サービスだけで十分な支援ができない場合も多々あります。自分、両親、配偶者などと考え、身内の誰かが認知症になる時代になってきました。認知症の人を支えるということも、自分に関わることとして興味をもって受けとめていただければ幸いです。

### プロフィール

熊本県八代市出身、  
サークルはワンゲル・バレーボールでした。  
2001年社会福祉学部福祉援助学科卒業  
2003年より現職  
2011年日本社会事業大学大学院社会福祉研究科博士後期課程修了  
  
現職：社会福祉法人 浴風会  
認知症介護研究・研修東京センター 主任研修主幹

名 称／認知症介護研究・研修東京センター  
法人名／社会福祉法人 浴風会  
所在地／〒168-0071  
東京都杉並区高井戸西 1-12-1  
TEL 03-3334-2173 FAX 03-3334-2718  
東京センター代表：tokyo\_dcrc@dcnet.gr.jp



出典：認知症介護情報ネットワーク